

飛躍的に進歩をとげている「抗がん剤」によるがん治療。  
がん治療の基礎知識から最新情報まで  
第一線で活躍するエキスパートが分かりやすく解説いたします。

# 知っておきたい 抗がん剤治療

**日時** 平成24年2月26日(日)  
13:00開場、13:30開会～15:30終了<予定>  
**会場** ホテルメトロポリタン仙台 3F「曙」  
仙台市青葉区中央1丁目1-1  
**対象** 一般市民、がん患者、がん経験者および家族

**【参加費無料/定員200名(先着順)】**

参加には事前にお申し込みが必要です

●お申込みいただいた方に聴講整理券をお送りいたしますので、当日ご持参ください。

- 1.ハガキ…住所・氏名・参加人数・電話番号を明記の上、  
〒980-8575仙台市青葉区星陵町4-1 NPO法人 東北臨床腫瘍研究会へ
  - 2.ファックス…上記内容を明記の上、022-717-8548へ
- ※締め切り/2月20日(月) 必着

## プログラム 第1部

テーマ『災害時のがん治療について』

司会 東北大学 加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授 石岡千加史

講演「災害時のがん薬物療法を考える」

演者 石巻赤十字病院 薬剤部 西 和哉

## プログラム 第2部

テーマ「新しい抗がん剤について知りましょう」

司会 東北労災病院 腫瘍内科部長 丹田 滋

講演1. 「分子標的薬とはどんなもの？」

演者 (地方独立行政法人宮城県立病院機構)

宮城県立がんセンター 化学療法科医師 村川 康子

講演2. 「分子標的薬、その副作用って？」

演者 東北厚生年金病院 薬剤部 大竹 隆晴

講演3. 「やっぱり気になるお金の話」

演者 (独立行政法人国立病院機構)

仙台医療センター 看護師 吉田美貴子

## 会場ご案内



- JR仙台駅 2階正面の出口(西口)から  
ペDESTリアンデッキに出て左手すぐ(フロントは1F)
- 地下鉄南北線「仙台」駅 南6出口よりお進みください
- 東北自動車道 仙台宮城ICより約10分

## 演者・講師 プロフィール



**石岡千加史** (いしかおかちし)

1984年 東北大学医学部卒業  
1988年 東北大学大学院修了  
1992年 マサチューセッツ総合病院研究員  
現在、東北大学加齢医学研究所教授、東北大学病院腫瘍内科長、同・化学療法センター長、日本臨床腫瘍学会理事、日本癌治療学会理事など。[専門] 腫瘍内科学。



**西 和哉** (にしかずや)

1986年 東北薬科大学薬学部製薬学科卒業  
1986年 石巻赤十字病院薬剤部入職  
1999年 石巻赤十字病院医薬品情報係長  
2008年 日本病院薬剤師会認定がん薬物療法認定薬剤師



**丹田 滋** (ただんだしげあき)

1984年 東北大学医学部卒業  
1988年 東北大学助手  
1994年 東北大学博士(医学)取得  
マサチューセッツ総合病院研究員  
1996年 仙台社会保険病院内科勤務  
同病院腫瘍内科・部長などを経て2004年より現職



**村川 康子** (むらかわやすこ)

1983年 弘前大学医学部卒業  
2000年 東北大学医学部附属病院腫瘍内科助手  
2005年 宮城県立がんセンター化学療法科診療部長  
2008年 東北大学医学部臨床准教授(内科腫瘍内科担当)



**大竹 隆晴** (おおたけたかはる)

1984年 東北薬科大学薬学部卒業  
国立仙台病院薬剤科勤務  
1989年 国立療養所釜石病院薬剤科勤務  
1991年～ 東北厚生年金病院薬剤部勤務  
2008年 学位(博士/薬学)取得  
現在、東北厚生年金病院にてがん化学療法業務に携わる。



**吉田美貴子** (よしだみきこ)

国立仙台病院附属仙台看護助産学校卒業  
現:国立病院機構仙台医療センター外来副院長、がん化学療法看護認定看護師

主催:平成22年度 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業  
「東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法の均てん化事業 (H22-がん臨床-一般-034)」(石岡班)

宮城県がん診療連携協議会・化学療法部会、特定非営利活動法人 東北臨床腫瘍研究会

共催:東北大学病院、石巻赤十字病院、大崎市民病院、仙台医療センター、東北厚生年金病院、東北労災病院、宮城県立がんセンター

後援:宮城県、東北がんプロフェッショナル養成プラン